



●報告書 No. 9

痛みに関するオンライン教育とソーシャルメディア

ソーシャルメディアは教育方法を根本的に変えた。この報告書では、ソーシャルメディアを用いる利点と、痛みの教育を改善・向上するためのいくつかの契機について簡単に説明する。個人や団体が、このIASP世界教育年の報告書からソーシャルメディアを通じて、一般の人々および専門家の注意を集めることができることを概説している。

「ソーシャルメディア」という用語は、一般にアクセス可能で公的でない場所での教育活動にしばしば用いられる一方で、「オンライン学習・教育」はより構造化された専用のアクセスが必要とされる場所での教育を指す傾向がある。ソーシャルメディアは最も簡単なレベルで、全てのタイプの教育コースに関する情報を、その情報受け取る可能性が高い人々に提供することができる効果的な方法である。しかし、現在ソーシャルメディアを通じた教育は、従来の教育方法に挑戦しているところだ。伝統的な教室での教育アプローチを、代替的な教育方法に置き換えたり補完したりする機会が増え、非公式で広くアクセス可能な学習・教育の提供が可能に



© Copyright 2018 International Association for the Study of Pain. All rights reserved.

国際疼痛学会（IASP）は、科学者、臨床医、医療者、政策立案者が団結して痛みについての理解が進むように支援し、世界中の痛みに対する治療がより良いものになることを目指しています。

なった。その対極には、教育機関により運営された、より構造化され閉鎖されたオンライン学習が位置付けられる。

以下はソーシャルメディアの持つ潜在的な教育法としての利点である。

- より進んだレベルの要求を含む、Web ベースの教育プログラムを通じて遠隔地での受講も可能な教育
- ブレンド型学習（正規の教育プログラムの中で、少なくとも部分的にはオンライン配信によって提供された教材や指示を用いて、いつ、どこで、どのような順序やペースで学ぶかなどをある程度まで受講者が決められる状況での学習のこと）
- より受講者毎に個別化されたターゲット学習
- オンラインの教育手段
- ネットワークの改善
- 教育・学習に対する意識の向上と参加機会の拡大
- 情報管理の改善
- 専門性または集団の素描の改善
- コミュニケーション

ソーシャルメディア用のプラットフォーム

- **仮想教育空間**では、教育を支援するためのオンラインツールと教育資源を提供する。安全なインターネットポータル（web 開始ページ）は、受講者や教育者との共同作業を通じて、学習効果を改善するための安全なオンライン環境を作り出す可能性がある。
- 開発されるべき個人間の**（仮想）社会空間**には、ディスカッショングループ、ハングアウト（井戸端会議）、個人間の直接的な議論・コミュニケーションが含まれる。組織や個人は、Twitter や Facebook のフィード、ニュースグループ、その他のプラットフォームを使用



© Copyright 2018 International Association for the Study of Pain. All rights reserved.

国際疼痛学会（IASP）は、科学者、臨床医、医療者、政策立案者が団結して痛みについての理解が進むように支援し、世界中の痛みに対する治療がより良いものになることを目指しています。

して、痛みの教育資源を配布したり、情報を交換したり相互にやり取りしたり、リサーチ
トライアルを募集したり、研究することができる。

- 専門機関向けや特定の健康状態のヒトに向けた情報を含む**ウェブサイト**は、背景となる基本情報を提供する以外に、多くのウェブサイトが定期的にメディア放送も提供している。

共同学習のためのソーシャルメディアの使用

この報告書では、IASP 痛みの教育世界年で「実践していること」を通じた学習を促進することを目指している。私たちは、痛みの教育をよりよくするために IASP 痛みの教育世界年の成功に寄与する間、ソーシャルメディアの教育的な力を探求するプロセスとして、共同学習を奨励する。

目標は、以下のことを達成するためにこの IASP 痛みの教育世界年を用いることである。

- 社会、専門家、患者、政府の痛みに対する意識を高める世界的なバーチャルソーシャルメディアネットワークを構築する。
- 個々の専門的な教育の進展を促進する。
- ソーシャルメディアを通して、IASP 痛みの教育世界年と IASP の理解を向上させる。

これらの目標を達成するために、IASP は会員、地方支部、および連盟に意見を述べるよう依頼する。以下はこれが可能となり得る方法である。

個人の戦略

以下のことを考慮する：



© Copyright 2018 International Association for the Study of Pain. All rights reserved.

国際疼痛学会（IASP）は、科学者、臨床医、医療者、政策立案者が団結して痛みについての理解が進むように支援し、世界中の痛みに対する治療がより良いものになることを目指しています。

- **熟考する。**あなた方は機会を失っていないか？2018 年の間、我々は Facebook、Twitter、および LinkedIn を使用し、あなた方に参加したり、受動的に聴いたり、自分の声を議論に提案することを推奨するだろう。
- **ソーシャルグループを作成する。**（Facebook や他のプラットフォームを介して）学習者のグループのために。これは、クラスのグループ、または健康に関する専門の知識を同様に持つチームを形成するかもしれない。興味深い体験、記事、講演、発表、重要なコミュニケーションを投稿する。質問だけでなく課題も共有する。グループのウェブ掲示板にビデオ、写真、ドキュメント、その他の資源を掲載する。共に学習しようとする仲間を集めて、この経験を共有する。我々は、1 年を通して生じる、オンライン学習の機会を宣伝する予定だ。
- **Twitter フィードを開始する。**Twitter は周知・宣伝を素早く投稿できるようにし、フォロワーは選択したイベントや教育トピックに関するリアルタイムの情報を投稿することができる。その分野の専門家の Twitter フィードをフォローし、何が起きているのかを知る。あなたも意見を持ち、対応し、討論を続けてください。
- **IASP 世界年の名前で教育活動と募金イベントを行う。**この経験を共有する。
- **オンライン講演会を含む IASP 世界年の活動に参加し、あなたの経験を投稿する。**世界中の Facebook や Twitter のフィードを見て、機会を見つける。

地方支部と連盟の戦略

次の点を考慮する：

- IASP 世界年の名前で**教育イベントを実行し**、ソーシャルメディアでこれを共有する。
- ソーシャルメディアポスターキャンペーンを運営する。**ホスト国によって開発されたポスターの例がここに表示される。各国の教育的に重要な問題や議題に基づいて自ら開発しなければならない。



© Copyright 2018 International Association for the Study of Pain. All rights reserved.

国際疼痛学会（IASP）は、科学者、臨床医、医療者、政策立案者が団結して痛みについての理解が進むように支援し、世界中の痛みに対する治療がより良いものになることを目指しています。

●IASP 痛みの教育世界年の趣意書を使用して、主要な企業投資家へ直接のメッセージやソーシャルメディアを通じてのメッセージなど方針を策定し、高品質で改善し続ける教育プログラムのための資金を調達する。趣意書の例をここに示す*^{脚注 1}。地方支部は独自の趣意書を作成することができる。

●各国の政府保健機関が包括的に**国別の独立した e-learning プログラム** (3) を実施するよう奨励する。[このリンク](#)*^{脚注 2} からワーキングモデルにアクセスできる。

●**政治的啓発活動を企画する**。政治体制は国により様々だが、英国で最近発生した痛みの教育を促進するための政治的な啓発活動のイベントの 1 つは国会議員のためのお披露目会であった。

*^{脚注 1} https://www.britishpainsociety.org/static/uploads/resources/files/BPS_Prospectus_Portrait_FINAL_u45eBGx.pdf

* ^{脚注 2} <https://www.e-lfh.org.uk/>

参考文献

1. Rice A., Smith B, Blyth F. Pain and the global burden of disease. Pain 2016; 157(4): 791-796
2. Darrell J., Richard P. The Economic Costs of Pain in the United States. J Pain 2012; 13(8): 715-724
3. National Academies of Sciences, Engineering, and Medicine. Pain Management and the Opioid Epidemic: Balancing Societal and Individual Benefits and Risks of Prescription Opioid Use. Washington, D.C.: National Academy Press; 2017.

著者

Paul Wilkinson, MB, BS, B.Med.Sci, M.Clin.Ed., MRCP, FRCA, FFPMRCA Consultant in Pain Medicine
Newcastle Pain Management Unit
Royal Victoria Infirmary
Newcastle upon Tyne, UK
David M. Walton, BScPT, MSc, PhD
Associate Professor,
School of Physical Therapy,
Western University
London, Ontario, Canada



© Copyright 2018 International Association for the Study of Pain. All rights reserved.

国際疼痛学会 (IASP) は、科学者、臨床医、医療者、政策立案者が団結して痛みについての理解が進むように支援し、世界中の痛みに対する治療がより良いものになることを目指しています。

査読者

G. Allen Finley, MD, FRCPC, FAAP
Professor of Anesthesia and Psychology
Dalhousie University and IWK Health Centre
Halifax, Nova Scotia, Canada

Sailesh Mishra, MB, BS (Hons), FRCA, FFPMRCA, MD
Consultant in Pain Management and Anaesthesia, Inpatient Pain Service Lead Royal Victoria Infirmary
Lecturer, Newcastle University
Newcastle upon Tyne, UK

翻訳者

水枝谷一仁（東京大学医学部附属病院麻酔科・痛みセンター）

住谷昌彦（東京大学医学部附属病院緩和ケア診療部/麻酔科・痛みセンター）

Kazuhito Mietani, MD

Clinical Physician, Department of Anesthesiology and Pain Relief Center, The University of Tokyo Hospital, Tokyo, Japan

Masahiko Sumitani, MD, PhD

Associate Professor, Department of Pain and Palliative Medicine/Anesthesiology and Pain Relief Center, The University of Tokyo Hospital, Tokyo, Japan

「痛みについての卓越した教育」世界年として、IASP は「痛みについての卓越した教育」に関する一連の報告書を作成した。これらの文書は、複数の言語に翻訳され、無料でダウンロードできます。詳細は www.iasp-pain.org/globalyear をご覧ください。

国際疼痛学会について

(the International Association for the Study of Pain®)

国際疼痛学会 (IASP) は、痛みに関する全ての科学、診療、および教育の分野における専門学会である。疼痛の研究、診断、または治療に関与する全ての者が入会資格を持つ (Membership is open to all professionals)。IASP には 133 カ国 7,000 人の会員が所属し、90 の国単位の支部学会、20 の分科会がある。



© Copyright 2018 International Association for the Study of Pain. All rights reserved.

国際疼痛学会 (IASP) は、科学者、臨床医、医療者、政策立案者が団結して痛みについての理解が進むように支援し、世界中の痛みに対する治療がより良いものになることを目指しています。